

case 01

機 械

ハイテクプラザ
電子・機械技術部 ロボット・制御科
(平成30年度採用)

わたしを表すキーワード

5

keyword 01

#子育て

一児の母として子育て奮闘中。令和3年度に育児休業を1年取得し、復職後は週1日の在宅勤務で育児と仕事の両立を図っています。

keyword 02

#直売所

週末には直売所で地元産の野菜や果物、お米を買います。2歳の息子も野菜やごはんが大好きで、好き嫌いせずモリモリ食べます。

keyword 03

#ヨガ

keyword 04

#ロボット聴覚

keyword 05

#研究職



私は

福島の地産地消

が好き!

略 歴

H30	ハイテクプラザ	企画連携部	産学連携科
H31～R3	ハイテクプラザ	技術開発部	生産・加工科
R4	～現在	ハイテクプラザ	電子・機械技術部 ロボット・制御科

世界へ羽ばたく福島の企業を応援!

私は、製造業の技術者向けに、3Dプリンタや3Dスキャナ等を活用した精密な3Dものづくりに関する技術支援や、ロボット聴覚やAIに関する研究開発を行っています。

技術支援を通して、企業の技術課題の解決に関われる点にやりがいを感じます。また、ロボットや再生可能エネルギー分野等の先端技術に関する研究に公務員という安定した立場から挑戦できるのは魅力だと思います。

県職員を目指した理由

福島県内の雇用促進のために商工業の活性化に携わりたいと思い、県の機械職を志望しました。また、県の重点産業（ロボット・再生可能エネルギー等）に関する研究に取り組める点に魅力を感じました。

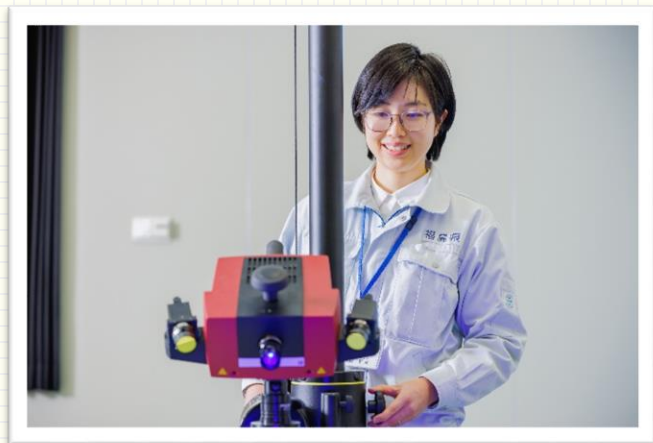


とある一日のスケジュール

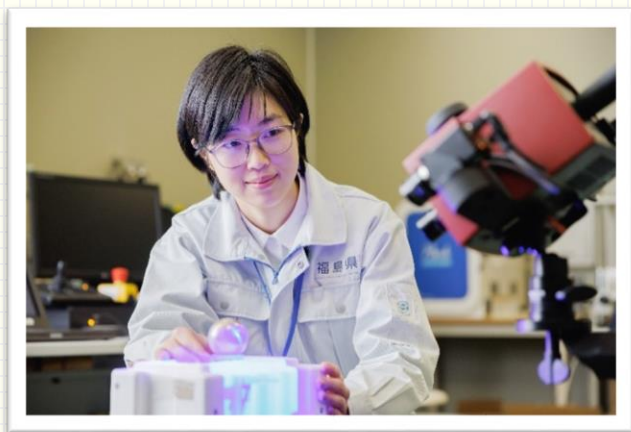


印象に残っている経験・エピソード

図面のない部品を試作したいという企業からのご相談を受け、3Dスキャナで現物をデジタルデータ化、3DCADで形状を修正し、3Dプリンタで開発中の製品の部品を試作しました。その後無事に試作した部品を実証実験にて使用できたと報告を受け、企業の課題解決に貢献できたと感じ、印象に残っています。



福島県職員として、実現したいこと・目標としていること



福島に住みながら、工業振興を通して持続可能な日本の未来を創る一端を担うことが目標です。度重なる災害や新型コロナ、物価高等を背景とし、製造業が抱える課題は多岐にわたります。

企業訪問や技術支援を通して企業の声に真摯に向き合うとともに、先端技術の調査や研究を通して自分の技術力を磨くことで、県内製造業の技術者から信頼される存在になりたいと考えています。